

2011年

12月

1月

土	日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 📖	5 📖	6 📖	7 📖			1	2	3	4	5
8	9 😊	10	11 📖	12 📖	13 📖	14 📖	6	7	8 😊	9 📖	10 📖	11 📖	12
15 📖	16	17	18 📖	19 📖	20 📖	21 休	13	14	15 📖	16 📖	17 📖	18 📖	19 📖
22	23	24 📖	25 📖	26 📖	27 📖	28	20	21	22 📖	23 📖	24 📖	25 📖	26
29	30	31					27	28	29 📖	30 📖	31 📖		

📖 教室のある日

★12月21日（金）は、家庭の都合でお休みします。

★12月29日～1月7日は、冬休みです。



ありの読書会…10:00～12:30 参加費：300円

「どの子どももよく生きようとしている」という人間観で教育から見直しています。

今は、ありの読書会の原点「ありの本」を読んでいます。

※ 会場は、毎月違いますので、参加したい方は事前にお知らせください。

😊 縁側の日…10:30～12:00 参加費：300円 場所：S.L.S.すぎな

毎月第2火曜日にしています。

認知症に関心のある方、どなたでもどうぞ！

★1月8日の会場は、白山分所。参加される方は、必ず連絡してください。

♪12月1日（土）アイリッシュハーブコンサート♪
～ 癒しの音色をひかりとともに ～

ハーピスト：松尾紗都呼 場所：S.L.S.すぎな

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子★S.L.S.すぎな☆

TEL/FAX：059-222-9077

E-mail：haru_sugina1044@wave.plala.or.jp

Blog：http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/



「誰もがよく生きようとしている」から

「ありの読書会」で教育学者・村井実氏の著書を読んできて8年になります。実は、この長い歴史上、いつの時代にも世界のどこにも「教育とは何か？」という定義がないままきているのだそうです。そこで、彼は、「どの子どももよく生きようとしている」という人間観をもとにした教育を提唱していらっしゃいます。私たちのメンバーは、幼児教室主宰者、進学塾講師、ピアノ指導者、体操指導者、大学勤務と様々です。毎月一回集まって皆で読み合わせ、わからないことを出し合っては、自分の子育てなど日常と照らし合わせて考えてきました。

8年たった今、私たちが実感していることがあります。

自分もよく生きようとしている、子どももよく生きようとしている、親もよく生きようとしている、同僚もよく生きようとしている…誰もがよく生きようとしている。この人間観に立ってみると、相手の見方が変わり、これまでとは違った対応を思いつき、自分が楽になって関係もよくなる、ということです。

この夏には村井氏と東京の読書会の人たちと合同読書会をしました。その中で私に印象的だった村井氏の言葉をご紹介します。

「それぞれのよさが違うのだから、必ずぶつかり緊張関係が生まれます。でも、話し合い、意見を交換すれば、両者が納得できる『共通するよさ』が必ず生まれます。どんなことでも、この『共通するよさ』に向って働きかけていくことが、教育であり、教育が教育であるために必要だと思いますねえ。

どんなに小さな子であっても、「よく生きようとしている」ということを大人がまず知ること。そして、信じ、尊び、愛する。その結果、子どもたちに「自分はよく生きようとしているんだ」ということが伝わってほしい。

そして、親御さん自身もよく生きようとしているのです。親御さんが、自分を信じ、尊び、愛することも忘れないでほしい。近頃、切にそう思います。



今、不安はあっても、悔いはない

Hさんは、Kちゃん（小1・幼稚園で入会）とIちゃん（小5・小3で入会）のお母様です。

らくだを通して、二人のそばでどんなことを感じていらっしやるか、聞かせていただきました。

●本人の頑張っているのがよくわかる。

プリントを続けるのに、疲れている日にもしたり、なかなか合格できないプリントを何枚もするんですよ。頑張っているなあと感じます。だから、「もっと頑張れ！」とは思わないです。

●子どもに「決める力」がついている。

すぎなに来るまでは、なかなか自分で決めるということができなかったのが、いまは全然違います。自分でちゃんと考えて決めるし、「私が決めたことにお母さんは口出しせんといて」とまで言います^_^;

だから、私も子どものことは子どもに聞いたらいい、と思うようになりました。

毎週、教室で晴子さんとのやりとりを聞いていると、こうやって「自分で決める」ということを続けてきたからだなあと、思います。

★豊吉補足：「自分で決める力」というのは、「他人の意見も受け入れて決める」ということですので、あしからず！

●力がついているのがわかるから、やる！

プリントをするのがすごくいやな時期もありましたよ。でも、最近「プリントをすると力がつくで、やる！」と自分で言います。学校の勉強をしているときに力がついていると感じるようになったみたい。

●わからないときは、晴子さんに聞く

Kは、今プリントで1-2（0+1）をやっています。学校の宿題は、「2桁+1桁」や「引き算」が出てきて、本人はできないし、どうやって教えたらいいんだろう？というときがあります。

そういうとき、私は晴子さんに聞きます。晴子さんの言うようにやってみると、やっている途中で子どもの方がわかってきて、「なんや、もういいんや」ということが、何度かありました。

★豊吉補足：プリントでは学校より簡単なことをしているようでも、表面的には見えなくても、数の概念が自ずとできています。そこを信じましょう。聞いて下さい(^_^)

●体験から、感覚的にわかってくるみたい。

「プリントや宿題をいつするか？」ということでも、晴子さんや私と相談して、いろいろ試しているうちに、自分はこうした方がいい、と感覚的にわかるようになってきているみたいです。私が言ったからで

はなく、「わたしは、……にしておいた方がいい」と二人とも自分できっぱり言います。

●情報がいっぱいの中で…

他のお母さんたちは、子どもにたくさん習い事をさせてみえます。「あその塾がいい」「英語の塾はあそこがいい」「うちの子は、こんなこともできる」という情報もいっぱい、どう考えたらいいんだろう？とわからなくなって、あせってきます。

でも、結局は子どもをよく観て、子どもにあったことをするしかないのではないかなあ、と最近は思っています。

●いつも観察している

私って、いつも子どもを観察しています。ただ、どんなに観察していても、どうしていいかわからないということがよくある…。そういうときに、本を読んだり、晴子さんや専門の人の力を貸してもらっています。

それで自分でいいと思ったこと、せいっぱいのことをしています。それで、やってきたことは、きつとよい方に向いている。私はそう思っています。

今不安はあります。でも、悔いはないですねえ。

豊吉より

まずは子どもをよく「観る」。それは、「聴く」と同じくらい大切なことだと思います。

「悔いがない！」って、素敵です～～！！拍手！！ちなみに、私も子育てに悔いはありません(^_^)